山口大学医学部附属病院

眼 科

【診療科の特色】

眼科は、”外科系”に分類される診療科／研究科であり、点眼薬を中心とした内科的治療だけでなく、眼科手術という方法を用いて外科的治療も行う診療科です。眼科では非常に多くの検査機器を駆使して疾患や病態を診断し、その診断に基づいて内科的な薬物療法を行い、薬物療法の限界に来れば外科的な手術療法という方法をとることができます。そして、それらの治療効果も、自分達で検査機器を駆使して評価していきます。自己完結型診療とも言える眼科のスタイルは、患者さんの視機能障害に関しては絶対の責任を持つ、という高い意識を我々眼科医に植え付けてくれていると言えるでしょう。

人間が外界から受け取っている情報のうち、80%は視覚情報と言われています。したがって、眼疾患を患っている患者さんは情報や行動が制限され、質の高い生活を送ることができない状態にあります。山口大学眼科では、このような眼疾患を有する患者さんの治療を行うことにより、より多くの人の良好な視機能を維持し、より幸せな生活を送っていただけるよう、高い志を持って日々の診療や研究に励んでいます。

【研修目標】

眼科（Ophthalmology）には、いわゆる臨床医学外科系の一分科である臨床眼科学と視機能について研究する視科学（Visual Science）が含まれています。

山口大学眼科の研修プログラムの目的は、視機能を理解した上でそれらの異常である種々の眼疾患の診断・内科的治療及び外科的治療について習得することです。初期・後期研修を通じて、臨床医学の実地に役立つ眼科学の臨床を中心に研修を行います。

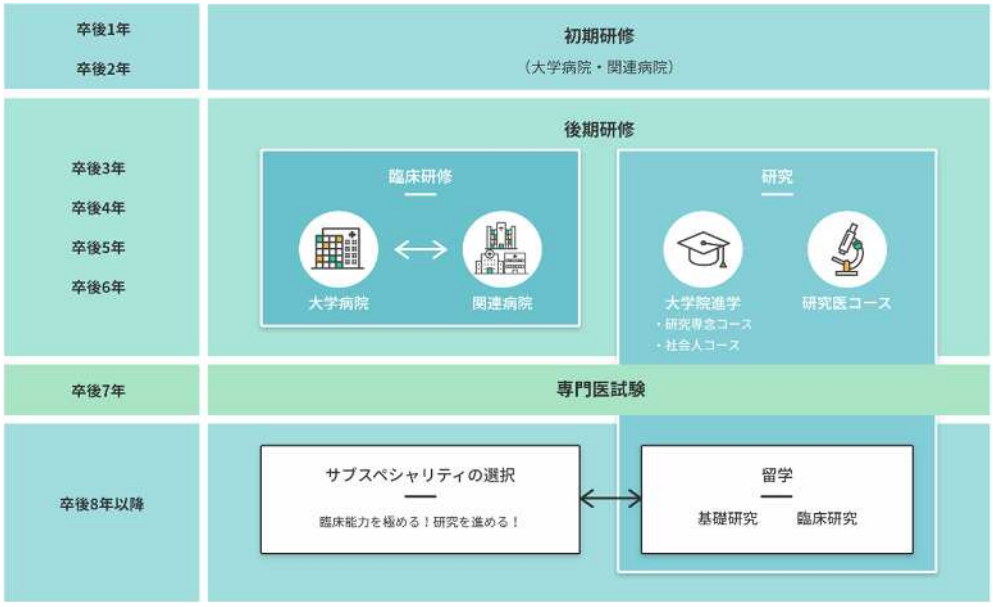
＜眼科研修の目標＞

1. 眼疾患患者さんの必要十分な問診がとれるようになる。
2. 主訴に対する最小必要で適切な検査プロトコールを考案できる。
3. 眼科診療に必要な基本的検査を正確に実施できる。
4. 眼科的処置の基本を習得する。（顕微鏡下での操作、結膜下注射、抜糸など）
5. 手術のための全身状態の把握のための検査が適切に指示できる。

【研修内容】

・眼科臨床に必要な検査、診察、診断、治療の知識および手技の習得。
・臨床医に必要な科学的、論理的思考力の育成および学会発表、論文報告を通じた発信力の獲得。

【研修スケジュール／キャリアパス】



【指導医からのコメント】

眼科が将来の選択肢に入っている場合は、初期研修の 1 年目に研修病院の眼科をローテートし、実際の臨床現場を体験してください。研修先に眼科がない場合や眼科での研修受け入れがない場合も、お気軽にご相談ください。

1 年目の研修でさらに興味が湧いたら、ぜひ 2 年目に大学病院でも眼科をローテートしてください。眼科の一員として、学生実習から更に一段階進んだ高度な眼科医療を体感できます。大学で研修を行うことのできる病院、そうでない病院があるので、できればマッチング前に相談してください。

【お問い合わせ先】

山口大学医学部附属病院　眼科
担当者：医局長　湧田　真紀子（わくた　まきこ）
TEL：　0836 – 22 – 2278　（眼科医局）
E-mail：adminoph@yamaguchi-u.ac.jp
URL：https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~eye1/

